

《輸入大豆》

17/18年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が6月12日発表した、17/18年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は主要国の数値がいずれも据え置かれたため、前回比微減の3億4,467万トンとなりました。

生産・需要共に前回とほぼ同じですが期初在庫の増加により、期末在庫は<u>前回比3.8%増</u>の9,222万トンと上方修正されています。

また、同日発表された米国大豆生産・需給予測によると、作付面積・単収・生産量は前回の数値から据え置かれたため、生産量は前回と変わらず1億1,580万トンを見込んでいます。

17/18年産 世界大豆生産・需給予測

生 産 量	3億4, 467万 t	(対前年比	1.9%減)
消費量	3億4, 421万 t	(対前年比	3.9%増)
期末在庫量	9, 222万t	(対前年比	1.1%減)
期末在庫率	26.8%	(対前年度差	1.3ポイント減)

17/18年産 米国大豆生産・需給予測

生 産 量	1億1,580万t	(対前年比	1.2%減)
消費量	5,675万t	(対前年比	2.8%增)
輸出量	5,851万t	(対前年比	4.9%増)
期末在庫量	1,348万t	(対前年比	10.0%増)
期末在庫率	1 1. 7 %	(対前年度差	0.6ポイント増)

○5月28日現在の米国大豆作付率は67%、発芽率37%で概ね平年ペース

アメリカ農務省が5月30日に発表した、5月28日現在の米国大豆作付率は主要18州平均で67%(前週53%、前年71%、平年68%)と<u>前年を4ポイント、平年を1ポイント</u>遅れて推移しています。

同日現在の米国大豆発芽率は、主要18州平均で37%(前週19%、前年42%、平年40%)と前年比で5ポイント、平年で3ポイント遅れています。

オハイオ、インディアナなど五大湖周辺の作付・発芽はやや遅れ気味ですが、その他は概ね 平年ペースで推移しています。

○6月11日現在の米国大豆作柄状況は良・優合わせて66%

アメリカ農務省が6月12日発表した、6月11日現在の米国大豆作柄状況は、主要18州 平均で<u>良好と優良と合わせて66%となっており、前年を8ポイント下回って進捗</u>しています。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151 URL:http://www.mitk.co.jp/mitukura E-mail: mitk@mitk.co.jp << 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>













《国産大豆》

〇平成28年産国産大豆入札情報

平成28年産国産大豆の5月の入札結果が、日本特産農産物協会より発表されました。

それによると、<u>上場数量が8,553トンで、落札数量が3,019トン、落札率は35%</u> という結果となりました。<u>平均落札価格は、60kg/9,289円</u>となり、前月と比較すると、60kg/114円値下がりしました。

普通大豆の銘柄別では、福岡産フクユタカが前月から約1,400円値下がりするなど<u>全国的に値下がり傾向</u>が見受けれました。また、<u>不落の銘柄も目立つ結果となり、落札率が下がり</u>ました。

	入札月	上場数量	落札数量	落札率	
1	6年 12月	5, 009 t	2, 020 t	40%	
1	7年 1月	7, 178 t	3, 563 t	5 0 %	
1	2月	10, 134 t	5, 169 t	5 1 %	
1	7年 3月	9, 819 t	4, 758 t	48%	
1	7年 4月	8, 282 t	4, 073 t	4 9 %	
1	7年 5月	8, 553 t	3, 019 t	3 5 %	
	合 計	48, 975 t	22, 602 t	4~6~%	

《 トピックス 》

〇仙台茶豆プロジェクトが本格始動

6月4日仙台茶豆プロジェクトが本格始動。当日は発起人の宮城県豆腐組合青年部の方々を中心に20名以上が集まり、茶豆の播種作業が行われました。播種作業自体初めての方が多く、大盛り上がりで楽しく作業が出来ました。

生産者と交流し大豆への理解を深めながら、「仙台茶豆」としてブランド化を目指すプロジェクト。楽しいことは連鎖し、消費者の心に届くと信じてます。(テレビ局も興味津々!)



三倉産業株式会社